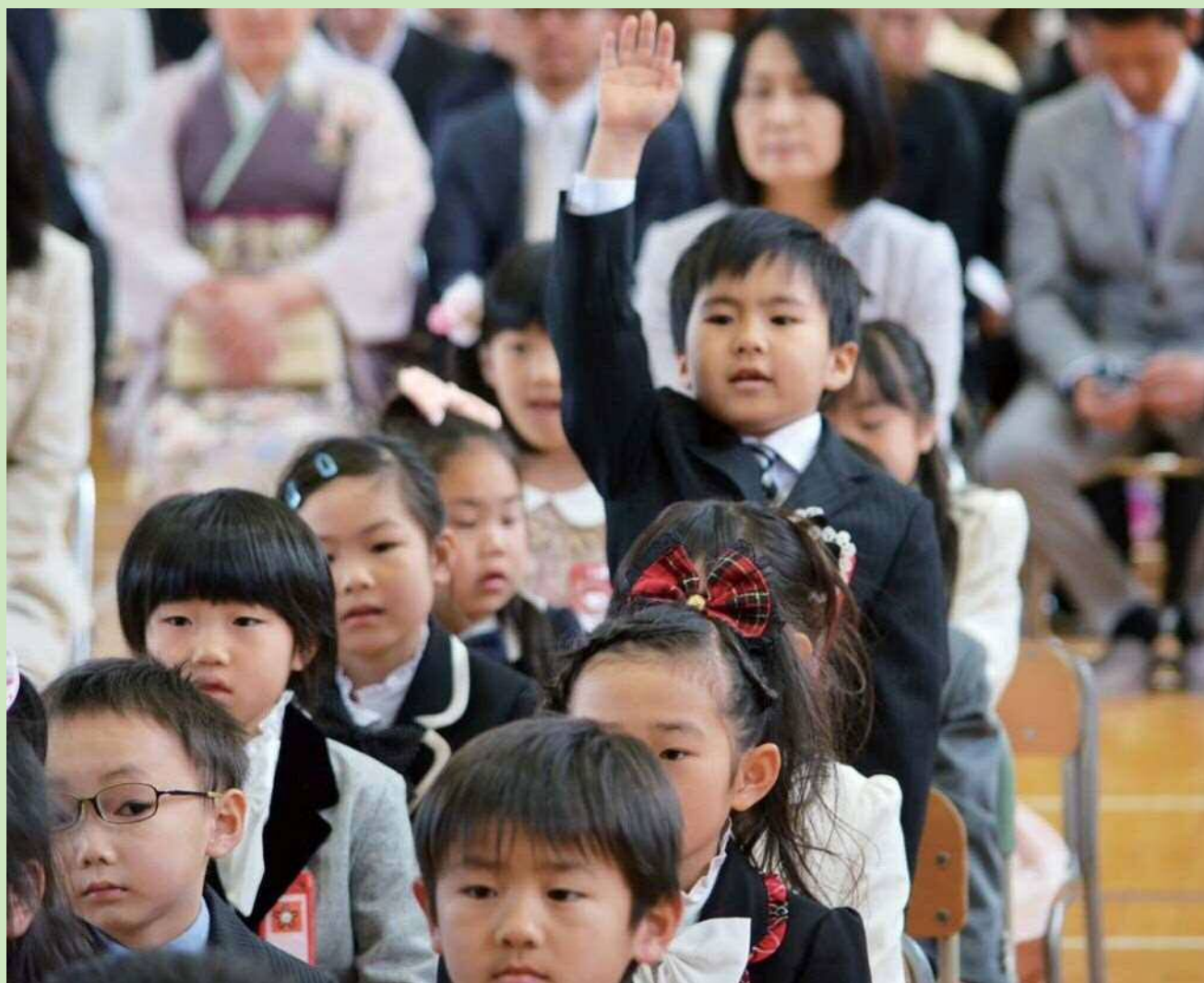


おおがわらまち 議会だより

第139号
平成28年5月1日



平成28年度予算概要	②③
予算質疑・討論	④⑤
町政への提言	⑥
議案審議(3月議会)	⑱
議決責任の明確化	⑲
議会報告会意見要望の回答	⑳
その後どうなったあの提言	㉓



予算規模は前年度比 一般会計 前年度比 1.9%減の

4.4%増の148億9,192万円 78億1,399万円

重点施策 町長施政方針

- まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進
- 子ども医療費助成所得制限撤廃
- 川根工業団地整備事業の拡充
- 心のケアハウス事業実施
- 住宅用太陽光発電・エネファーム等設置補助
- コンビニ収納業務開始



▲満開の桜

8会計予算額

(単位:万円)

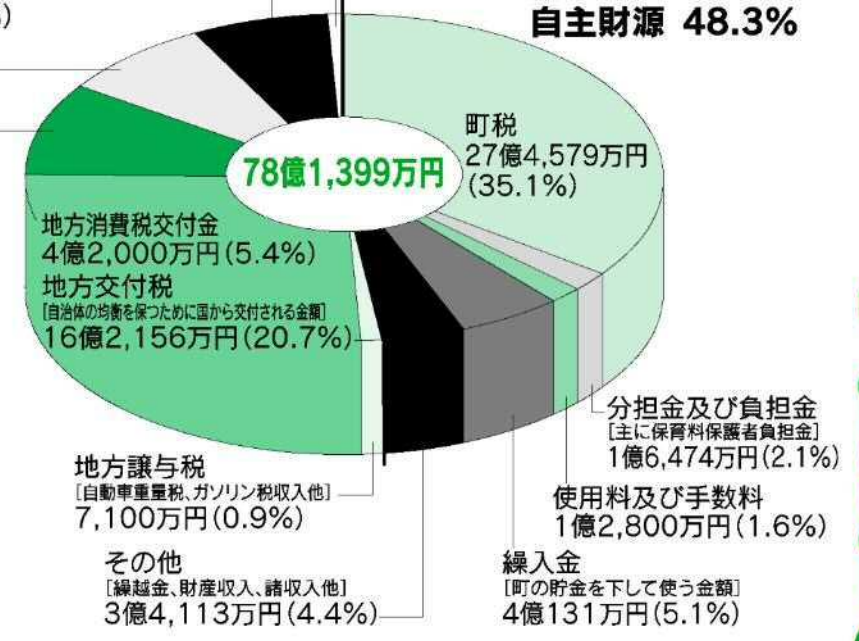
会計名	予算額	前年度比較
一般会計	78億1,399万円	△1.9%
後期高齢者医療特別会計	2億5,017万円	△0.7%
国民健康保険特別会計	25億8,677万円	11.3%
介護保険特別会計	14億8,934万円	6.2%
仙南夜間初期急患センター事業特別会計	3,692万円	△2.5%
地方卸売市場事業特別会計	406万円	6.5%
公共下水道事業特別会計	13億6,746万円	4.4%
水道事業会計	13億4,321万円	39.6%
合計	148億9,192万円	4.4%

一般会計

依存財源 51.7%

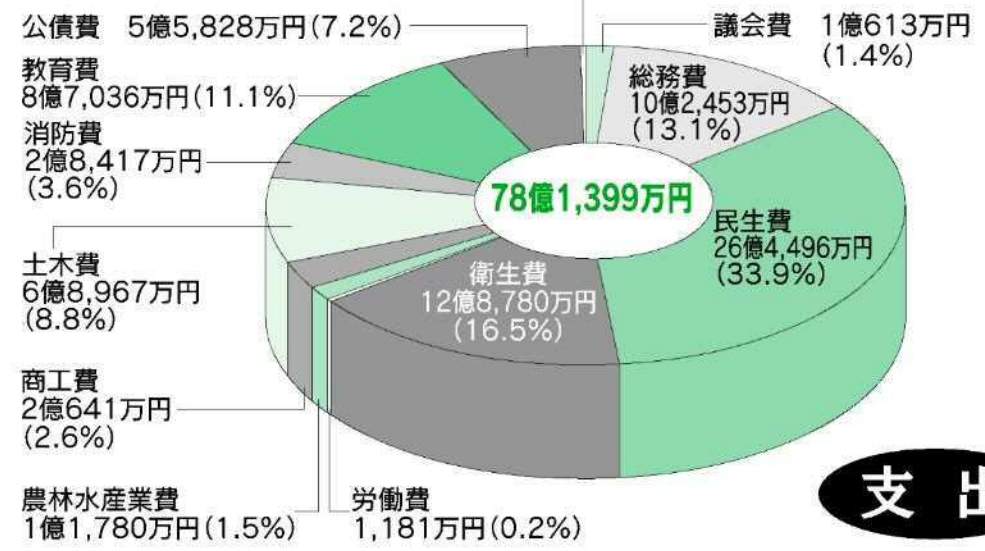
- その他[自動車取得税交付金他] 4,750万円(0.7%)
- 借入金(町債) 5億3,796万円(6.9%)
- 県支出金 6億96万円(7.7%)
- 国庫支出金 7億3,402万円(9.4%)

自主財源 48.3%



収入

支出の内訳



支出

将来ある子どもと福祉のために
一人あたり33万円使われます。

予算審査特別委員会審議

採決の結果原案通り可決

問 元気な町づくり活動支援補助金50万円が計上されているが、昨年も同額計上し全額補正減している。果たして活用できるのか。

答 おしらせばん等でPRしていく。

問 手話奉仕員等養成研修業務委託料82万2千円が計上され、昨年執行見込み額より78万4千円の増となった理由は。

答 昨年は2市6町で実施したが、今年は町単独で入門講座20回、基礎講座20回を予定しているためである。

問 職員提案制度記念品5万円を計上しているが職員に記念品を出すのはいかなるものか。職員が町づくりを提案するのは当然の事でないか。

答 他自治体でもこの制度を取り入れている。

問 紙おむつを必要とする人は多いのに15名分90万円の予算は少なすぎる。アンケートを実施して、角田市(1千万円)の様子に要件を緩和して対象者を広げるべきでないか。

答 実態を調査して対応する。

問 昨年は企業誘致のための合同説明会への旅費が計上されていた。川根工業団地への企業進出も決まったが、引き続き誘致活動を継続するのか。

答 27年度は東京と名古屋へ企業誘致説明会に行っている。28年度は、名古屋へは行かず東京へ2回分を見込んでいる。



▲川根工業団地

問 生活センター維持費補助金があるが、旧橋本生活センターの取り壊しに地元が苦慮している。町として助成する考えはないか。

答 施設管理計画の中で検討していく。



▲旧橋本生活センター

問 大河原小学校駐車場整備工事321万7千円が計上されているがどこに整備するのか。

答 来賓用6台分を児童センター脇に作る予定。

総括質疑

問 アベノミクスは大企業には減税、国民には消費税増税や年金削減等暮らしを脅かし、生活困窮者を増やしている。今こそ町民の心に寄り添い公務員としての使命を一層果たし、減免制度の積極的な活用で弱者救済に取り組む町政運営が求められていると思いませんか。

答 役所は最高の頭脳集団である。きめ細かなサービス提供に限らず、様々な視点からの課題の発掘と解決に向けた政策提言ができる職員も必要と考える。減免制度の周知徹底と運用で救済にあたる。

問 防衛相は自衛官募集を進めるために地方自治体に対して自衛官適齢者名簿提出の協力要請を強化していると聞かされた。住民基本台帳の一部の写しの閲覧申請書を提出し、該当者名簿を閲覧していただいている。

問 校庭が狭いのに遊具を作るのならまだしも駐車場をつくる必要があるのか再検討すべきだ。

答 来賓用の駐車場が長年必要とされていた。児童の安全を第一に考えながら整備する。

問 ふるさと寄付金には否定的だったはずだが、専門業者に委託費が計上されたのは。

答 方針を転換した。

問 新開五瀬線用地買収の面積及び単価、倉庫補償とあるが大きさは。また施工は県道と一緒に県にお願いできないか。

答 9筆で288㎡、宅地1㎡当り1万5千円、農地3千4百円、倉庫は鉄骨平屋50㎡である。工事の施工は町で行うようになる。

一般会計

〔反対討論〕

万波 孝子 桜まつり河川敷駐車料金2倍に対する町の対応について、何故値上げしなければならぬのか。観光客が減ってしまう。おもてなしの心は等、町民間で批判の声が飛びかっている。実行委員会の一員で大会会長の町長は「観光客は駐車料金の方ではなく大原の桜の絶景を見に来ている」と理解を求めたが、町民感情と相当のずれがあり納得できない。実行委に再考を促し、併せて財政的援助等も町として考えていくべきである。

大沼 忠弘 職員の政策提言への記念品の予算措置は廃止すべき。また、創生総合戦略施策に沿った行動するスタート元年にも関わらず、新規、拡充事業として着目すべきものがない。厳しい財政状況を踏まえながらも、戦略が形になるよう、実行する事業と

問 福祉委員の報酬は正の考えは。

答 考えていない。

問 電気自動車充電設備保守委託料が前年度対比11万4千円減の12万6千円の計上となっているが説明を求め。

答 昨年度は普通充電設備と急速充電設備の両方の保守委託料が必要であったが本年度は、急速充電設備だけの保守の計上である。



▲急速充電設備

問 本年度も放射能対策費334万1千円計上しているが、これも東電に請求するのか、またこれまでの請求額と入金額を示してほしい。

答 請求総額約4077万1千円で入金総額は約553万円である。今年度もプールの水の入替え費用70万円の入金がある。

問 配食サービス事業運営委託料が年々減額となっているが、その理由は。

答 民間のサービスが増えているため。

問 公金横領弁償金として375万3千円計上しているが、弁償の見通しはあるのか。

答 相手方に郵便書留で送付している。弁護士にも依頼して対応している。

問 地域型保育給付金4338万2千円は2施設分だが十分な給付なのか。

答 子どもの出入りもあるので一年分を推計して計上している。

〔賛成討論〕

須藤 慎 今回の予算内容は新しい取り組みを積極的に取り入れ、削減すべきところは削減、成果が上がっている事業は継続又は拡充といったメリハリの効いた予算編成となっており、予算審査委員会で細部にわたり審査した結果予算の計上に無理はなく、これといった異常がないと判断される。

丸山 勝利 今回の一般会計予算は町長の1期4年最後の予算になる。しかし、私の一般質問で、「村井知事と直接お会いして、補助を考えている」と示していただいた、実現できると思っている」とした町長の老人ホーム建設などの目玉政策が任期最後の予算に反映されていない。

佐藤 貴久 町長公約である特養老人ホームは、町立から民間に。100人規模から29人に。説明責任が果たされていない。約束は守るためにある。町民学園事業は、不公平を生む。事業は誤った方向に向かっている。さらに、再生可能水素関連事業は、

予算の裏付けが必要。さらに、町から委嘱で仕事をされている方々の報酬も、格差是正が求められるが未だ前年度踏襲では是正の動きがないのは受け入れ難い、改善を求める。

一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回11人の議員が行った。

- 万波 孝子 P⑦
 - 要介護認定者に「障害者控除対象者認定」の申請書を
 - 金ヶ瀬カトリック保育園建替え時には支援を
- 高橋 芳男 P⑧
 - 子どもの成長をパソコンやスマートフォンで確認を
 - 国土強靱化地域計画の策定に向けた取り組みは
 - 振り込め詐欺の被害を防げ
- 柘 和也 P⑨
 - ジェイデバイス工場閉鎖対策協議会設置を求む
 - 金ヶ瀬カトリック保育園建替えに対する支援は
- 岡崎 隆 P⑩
 - すべての子どもに最善の利益を図るべき
- 堀江 一男 P⑪
 - 適正な予算の流用を図れ
- 庄司 充 P⑫
 - 大河原中央公民館の今後のゆくえは
- 丸山 勝利 P⑬
 - 公約撤回は町民に対する詐欺ではないか
- 大沼 忠弘 P⑭
 - 公約の撤回、見直しをどう受け止めているか
 - 町民学園の現状は
 - 仙南夜間初期急患センターの状況は
- 須藤 慎 P⑮
 - 桜まつり駐車場料金値上げ撤回を
 - 統合後の大河原商業高校跡地に既存のナイター照明を活用したグラウンド整備を
- 佐久間克明 P⑯
 - 小規模保育事業所へ入所紹介を
 - 放課後児童クラブで高齢者と交流の時間を
- 佐藤 貴久 P⑰
 - 町民学園は笛吹けども、踊らずか
 - 絵本コーナーの実績を問う
 - 町長選挙目玉公約を問う



問 要介護認定者に「障害者控除対象者認定」の申請書を

答 前向きに検討する

65歳以上で介護保険の要介護認定により要介護一〜五と認定されると、身体状況や認知症の症状が障害者に準ずると認められた場合には障害者控除を受けることができ、町に申請して「認定書」が発行されると確定申告時に所得税等が安くなる。障害者控除額は所得税は27万から75万円、住民税は26万から53万円。申請しないと過分に税を納めることになる。昨年6月議会で取り上げて以来、周知に努力はされているが、更なる周知の徹底を求めて尋ねる。



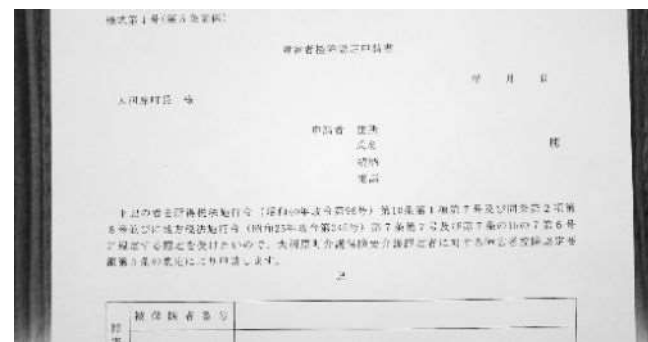
万波 孝子

一般質問

問 対象者全員に申請書を郵送している自治体と当町のように町に取りに

町長 要介護度に変更を生じた方にも周知を図った。24年から27年度まで63件。

問 6月以来、改善された点は何か。申請の件数は。



▲障害者控除申請書

行かなければならない自治体とでは、申請者の数に大きな差が出ている。埼玉県加須市の場合、全員の郵送し、認定者発行率37・1%。郵送していない戸田市は3%。当町も加須市に学び対象者全員に申請書を郵送して周

金ヶ瀬カトリック保育園建替え時には支援を

問 金ヶ瀬カトリック保育園の整備計画の動きがある。聞いています。整備内容について、町としての支援策は考えているか。

町長 まだ具体的な計画はできていない状況だが、国の「保育所等緊急整備事業」を活用するなど出来る限りの支援をする。

問 保育園の駐車場はな、町道が狭く送迎時に苦慮している。安全面

町長 当然ながら考えている。

問 桜保育所建て替え計画は。

町長 40年経過している。財政状況等を勘案し進める。

町長 知徹底を図るべきでないか。山形市では27年度から対象者全員に認定書を発行した。大いに学ぶべきでないか。

町長 庁舎内で検討する。



高橋 芳男

問 子どもの成長をパソコンやスマートフォンで確認を

答 国の動向を注視する

問 マイナワンバー制度の活用を想定したICTで住民の生活向上を図る母子健康情報サービスはその一つ。妊娠届提出時に受け取る母子健康手帳の内容の一部を電子化する、パソコンやスマホ、タブ

町長 医療機関でも統一利用ができるよう電子母子健康手帳の記録情報の標準化を目的に平成26年1月に、日本産婦人科医学会など中心に、「電子母子健康手帳標準化委員会」が設立、「利用者個人情報報漏えい」問題点が指摘、標準化委員会や国の動向を注視していく。

レフト型端末で健康管理に役立てるため伺う。



▲アプリでの子育て支援

一般質問

国土強靱化地域計画の策定に向けた取り組みは

問 国土強靱化地域計画の策定については、今後発生する大規模自然災害等から市町村民の生命・財産を守る最大の目的として、効率的かつ効果的に行う観点から早急に策定すべきである。国土強靱化地域計画を策定内容等の見解を伺う。

町長 宮城県を含め自治体で未整備であることから、県及び近隣市町の動向を注視し、新年度取り組む。次期総合計画策定のための国土利用調査や都市計画策定等との整合性を図る必要がある。また、昨年度策定した「地域防災計画」との調整も必要と考えている。

振り込め詐欺の被害を防げ

問 千葉県柏市は4月から施行をめざし地区町村レベルでは全国初「振り込め詐欺被害の防止に関する条例」制定に向け準備、条例案では、振り込め詐欺の被害を未然に食い止める目的に、「振り込め詐欺の被害を食い止める」条例制定の取り組みを伺う。

町長 本町において、こうした振り込め詐欺に関する相談は消費生活相談員が対応、注意喚起を図る。各種詐欺等の基本的な対処法や相談連絡先を記載した「暮らしの安全安心カレンダー」を全戸配布、新たな防止条例の制定は現在のところ考えてない。



ます 和也

問 ジェイデバイス工場閉鎖対策協議会設置を求む

答 県や職安に要請する

問 ジェイデバイスの宮城工場（村田町）、と福島工場が2017年6月末までに業務を函館工場と福岡工場に移管し閉鎖すると河北新報の記事に載った。会社は「競争激化に対応するため業務を集約し経営効率を改善させたい」とし両工場の従業員850人（宮城工場520人、福島工場330人）を「雇用の維持を前提として勤務地を変更する」との方針である。立地町でもある村田町長・商工会長が「地域経済に長く貢献してきた、影響は大変大きい」と大変厳しい状況であるとの見解を示した。この問題は柴田郡に及ぼす経済への影響、従業員

家庭に与える影響は大きい、以下質問する。

問 転勤に対応できず大量の離職者が出ると考えるがこの問題をどう考えるか町長の見解を伺う。

町長 当町に住居されている雇用人数は近隣市町の中で最も多いのでその影響を懸念している。

問 従業員の大河原在住者124名・柴田郡4町では、294名で半数以上を占める。労働局ハローワーク、各自治体、商工会、法人会、経営者協会、各種団体が連携して対応すべきと考えるが、

町長 ハローワーク、県、周辺市町と連携しながら広範な対応策を検討し協力をしていく。

一般質問

金ヶ瀬カトリック保育園建替えに対する支援は

問 昭和29年より、これまで62年間半世紀以上にわたり金ヶ瀬地区・大河原町の福祉・保育行政子育て支援にご尽力をいただいた保育園が老朽化と大震災の影響により建て替えを計画しているが町はどういった支援を検討しているのか。

町長 国の「あんしんこども基金」等の活用をはじめ、今後も町にとって重要な施設となることから保育園・法人と連絡を密にとりながらできる限りの支援を検討していく。



▲村田町ジェイデバイス工場(旧富士通)



岡崎 隆

問 すべての子どもに最善の利益を図るべき

答 最良の支援策を検討する

問 今年の4月から「みやぎ心のケアハウス事業」が開始されるが、どのような事業か。



▲心のケアハウス設置場所の駅前オーガ

教育長 今後5年間、県から1億2千万の補助を得て「心」「適応」「学び」をサポートし専門機関と連携し、児童生徒を取り巻く不登校やその傾向にある要因を早期に解消するための事業である。

問 県内では8市町がこの補助事業の採択を受け

一般質問



実施となるがわが町の置かれてはいる児童生徒の不登校率は高いのか。

教育長 全国的に高い宮城県よりも更に高い。

問 今急にそのような状況になったのではないかと考える。これまでどのような対策が取られてきたのか。

教育長 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を配置して対応してきた。

問 なぜ不登校率が減少しなかったのか。

教育長 SNS等によるいじめなど表面化しにくい状況が現在に至る原因とも考える。

問 子どもの人権教育において自身に与えられている権利について授業で触れられることが少ないと考えるがどうか。

教育長 他人を思いやることも大切であるが、自

らの持つ「子どもの権利」についても自己肯定感を高めるために大切であると考えます。

問 日本は「子どもの権利」についての教育は遅れている。地方自治体においても子どものための予算割り当てが明確でないことも大きな問題であるがどうか。

教育長 国、県との兼ね合いがあるが努力する。

問 教職の採用については本来県に申すべき課題であるが、あまりにも狭き門であるがゆえに児童生徒にとつて素晴らしい人材の流出を招いている。一定のスポーツ、芸術の分野で実績のある講師には期限付きでも町が独自に教員との給料の差額を補助するような取り組みは必要である。身近な子どもの利益を図ることもあるので今後検討するべき。

教育長 最良の支援策を検討する。

問 適正な予算の流用を図れ

答 運用は長の裁量権の範囲である

問 予算は事業計画の金銭的見積もりであり、実際に事業を執行する段階になると予算の見積もりと実際の執行額の間に出が出てくる事がある。予算流用行為は法的に認められているものの、安易に流用行為が行われれば予算の議決が骨抜きになるともなりかねない。町財務規則に予算の流用について記載されているが、流用について町長はどのように考えているか。

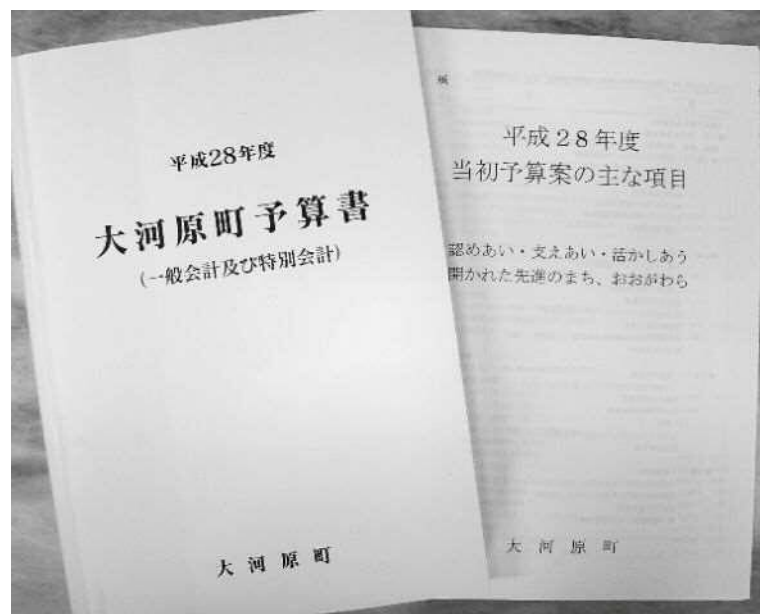
町長 予算説明書にある目節については、長の執行科目として、この間での運用は長の裁量の範囲である。

問 予算の流用は誰でも納得ができる理由があるかなど、納税者の立場に立つて監視していくのが議会であると認識している。しかし、流用がなされたかどうかは決算委員会でないし、知ることができないし、決算委員会での執行部の説明には、どこからいくら流用したのかの説明は殆んど無くなりづらいが、今後、決算委員会において流用について説明する考えはないか。

町長 決算内容の説明及び質疑の中で必要に応じて説明を行っていきたい。

問 年度末は流用が多い時期と思われるが、予算消化のための流用はないか。

町長 予算の執行状況に応じた予算執行見込みの



▲適正な予算の執行を

精査を徹底していることから、予算消化のための支出は無いと考えている。

現象をどのように見ているのか。

町長 決算額につきましては、年度内の支出の累計であり、その結果予算額と同額になり0円になっている。問題はないと考えている。

一般質問



堀江 一男



しょうじ みちる 庄司 充

問 大河原町中央公民館の今後のゆくえは

答 公共施設等総合管理計画の中で検討する

問 文化の殿堂町民憩いの場として親しまれ利用されてきた大河原中央公民館は昭和55年完成以来35年経過しているが、ひどい雨漏りと老朽の為内部が著しく破損し使用するに堪えがたい状態になっている。町長は現在の荒れ果てた内部をみて、どのように感じているか。

町長 ご指摘のように中央公民館は老朽化が進み雨漏りや冷暖房が十分に機能しておらず修繕費等の維持管理費用が年々増えている。エレベーター施設がないため地下や2階への階段の昇り降り等高齢者の方には大変ご不

便をかけている。職員をはじめ、文化協会、地域住民等のご協力を得て、安心安全な憩の場の提供に努めている。

問 度々の公的な会合で町長は中央公民館の今後を考えている発言をされているが公民館建て替えを視野に入れた計画はあるか。

町長 現在町では公共施設等総合管理計画の策定を行っている。



▲中央公民館の今後は

問 鉄筋コンクリートの建物は60年持ち、築35年頃に大規模改修がのぞましいと言われている。公民館はいまがほぼこの時期に当る。内部はかなりひどい痛み具合だが建物そのものは頑丈に出来ているので、あの頑丈な外部を生かして内部全体の

大規模改修をしたならばあと30年は使えると思えるかどうか。また、大規模改修をした場合、概算でどれくらいかかるのか。企画財政課長 現在の規模からすると5億程度かかる。

町長 公共施設等管理計画もあるので、その中で優先順位が決まっていると思うが建替えにするか、大規模改修にするかしっかりと検討し、効率的な財政運用も図りながら魅力のあるものに変えていく認識でいる。

問 公約撤回は町民に対する詐欺ではないか

答 撤回ではなく公約の見直しである



まるやま かつとし 丸山 勝利

問 県議会議員を2期8年務め、県の予算、決算審議もされてきて行政の



▲公約の重みとは

財政に詳しい中で詳細に掲げた公約で、個人町民税5%減税は就任して早々と撤回し、代替えと称する水道基本料金の家庭用では月86・4円の引き下げを行ったが、財源は広域水道水が下がった

から町民税5%減税と水道基本料金値下げは別の施策ではないか。

町長 町民税5%減税の公約がなければ水道料金の値下げは行わなかった。水道料金の値下げは代替え措置と考える。

問 町政レポートで放射能対策が◎になっていたが、シートが掛けられたままの鷺沼入の残土処理はどうなっているか。平成25年6月の一般質問で、任期中に解決できるのかと質問した際に「任期中にはというお言葉でありますけども、そんなに長くかけるつもりはございません」と答弁しているがどうか。

問 「道の駅おおがわら」計画撤回で、基本計画の予算相当額(4億7610万円)は町立老人ホーム建設費に充当するとおっしゃったが、民間業者による老人ホーム整備に補助金4270万円予算計上で、事実上「町立老人ホーム」建設撤回である。
公約の「個人町民税一律5%減税」や「町立老人ホームの設立」など目玉政策の撤回は町民に対する詐欺ではないか。
町長 撤回ではなく、見直しであり、方針の転換である。

町長 住民の理解が得られず、現在の場所での管理しなければならない。

一般質問

一般質問



おお ぬま ひろ 大沼 忠弘

問 公約の撤回、見直しを どう受け止めているか

答 生活や福祉を重視、代替策を実施したい

問 布設替え等に備え、水道料金は据え置く方が得策だったのでは。

町長 十分なシミュレーションを行っており、可能であると判断した。

問 町立特養ホーム構想を公約とした根拠、裏付けは。

町長 利用者が増える事が予想され、民営よりも町立が良いと考えた、建設費は、「道の駅」町負担相当額を考えていた。

問 地域密着型ホーム事業者応募に見込みは。

町長 社会福祉法人から



▲仙南夜間初期急患センター

一般質問

照会があり、状況を見守っている。他にもマンパワーが確保できれば検討する申し出もある。

町民学園の現状は

問 対象事業は現在どれくらいあるのか、事業の認定基準は。

町長 200を超える事業がある、町民が健康でいきいきとした生活を送る為に町が必要と判断したものを認定している。

問 これまで何枚のさくらカード商品券が発行されたか。

町長 26年度26枚、27年

問 学園事業により医療費削減の効果は出始めているか。

町長 年度途中という事もあり比較するデータが出てこない時期でもある。医療費と比較検討が困難ではあるが、今後データの研究も検討する。

仙南夜間初期急患センターの状況は

問 開設前1日10人程度の受診数を想定していたはず、月ごとの経過実績は。

町長 4月53名、5月52名、6月62名、7月66名、8月68名、9月58名、10月51名、11月45名、12月61名、1月58名、2月115名。

問 認知度、PR不足の改善、取組みは。

町長 仙南2市7町、仙南広域、中核病院の広報紙へ掲載。ポスターを作成し、仙南保健所管内の関係機関の協力により、調剤薬局に掲示をお願いしている。

問 桜まつり駐車場 料金値上げ撤回を

答 混乱が生じるため控えたい



▲観光客への影響が心配

問 桜まつり駐車場料金値上げの新聞報道があったがこの経緯と理由について尋ねる。

町長 桜まつり駐車場の第1回大河原桜まつり実行委員会にて提案があり、警備に必要な経費が年々増えているというところで決定された。

問 柴田町では500円

のままで、大河原町だけが倍も値上げすることは考えられない。今からでも料金を据え置きにするべきである。駐車場料金値上げの撤回を求める。

町長 一旦決まっているため、ここで町からそういう提案をすれば混乱が生じるため控えたい。

問 今回、柴田町から地方創生加速化交付金を活用して観光関係の事業を一緒にやらないか、という話があったと聞くが、なぜこれを断ったのか。その理由と予算規模は。

企画財政課長 大河原町は桜だけの部分の中でどこまで対応できるのかが難しい部分があること、次年度以降の予算措置等々もあること、またこの事業を行う上で新たな組織を立ち上げなければならぬという不安要素があった。予算規模は柴田町1800万円、大河

統合後の大河原商業高校跡地に既存のナイター照明を活用したグラウンド整備を

問 統合された時、生徒登下校や地域住民の安全確保のため町道の整備が必要と考えるがどうか。また柴田農林高校体育館西側道路の改良も必要と考えるがどうか。

町長 大河原地域における高校のあり方検討会議の中で提案していく。グラウンドは県へ働きかけを行う。

設置が不可欠と考えるが。

町長 大河原土木事務所ではLEDフット照明を設置することにしたと聞いている。

問 町長と教育長には統合後より良い高校となるために検討会議の中で積極的に意見を述べていただきたい。

町長・教育長 「学び」人材育成」などの拠点となるよう積極的に意見を述べたい。

一般質問



しん ず どう 須藤 慎



さくま かつあき 佐久間克明

問 小規模保育事業所へ 入所紹介を

答 定員充足を優先し利用調整を進める

問 次年度の保育所入所は何名申し込みがあり、待機児童数は何名か。

町長 569名の申し



▲小規模保育事業所の活用を

問 小規模保育事業は町民間活力を生かした今後を見通した良い事業だと考える。開所したばかりで認知度の低さと不安の声も聞く。また、事業所から入所者数が少ない

込みがあり、内定人数は510名。7月以降の入所希望者もいる為、現時点での待機児童は31名。

一般質問

との声も聞く。

町長 4月から2施設への入所内定は19名。7月からは1名。定員は27名なので充足していない。小規模保育事業所は2歳児保育までなので、3歳児以降の入所先に不安があるとの声がある。解決策として小規模保育修了児が優先的に認可保育所へ受け入れ可能となるよう、連携協定の締結を進めたいと考える。

問 12月議会において「将来の少子化社会における町内の民間保育施設の安定経営を考慮した施設計画を考慮したい」と

放課後児童クラブで 高齢者と交流の時間を

問 行政区内で高齢者と児童が交流出来たら、職員の負担軽減、高齢者の生き甲斐や健康状態の確認。費用面の負担軽減につながるのではないかと

町長 現在の制度の枠組みの中で恒常的に高齢者

回答を得た。民間の小規模保育所がないと町全体の待機児童解消は成し得ない。町営の利用定員を3号認定児童(0歳~2歳児)は減らし、2号認定(3歳~4歳児)を増やす事により正職員数を確保したまま、小規模保育事業所3号認定児童の定員確保が可能となり安定した経営が出来るのではないかと

子ども家庭課長 小規模保育事業所への紹介については町としても積極的に進めている。今後も小規模保育事業所の定員充足を優先として、利用調整を進めたい。

問 町民学園は、笛吹けども、踊らずか

答 さらに対象者を拡大していく

問 対象人口に対し、さくらカードの発券者は何%に及ぶのか。また、ポイント引き換え補助券の回収率はどうか。

教育長 発券率は3・5%。回収率は集計していないが、健康祭りに関しては、20%程度。

問 43行政区で対象事業を申請したのは何地区か。

教育長 18行政区。

問 衣類等改修事業を対象としての参加者数と回収量の推移はどうか。

ポイントスタンプのもらい方
おおがわら町民学園対象事業に参加したら、裏面の「参加記録」に「年月日、対象事業名、参加者記録」を自分で記入しポイントスタンプを押してもらいます。任意でスタンプが10個に達したら、おおがわら町民学園、中央公民館、さくら公民館、世代交流いきいきプラザのいずれかで500円分の「さくらカード発給品券」の交付申請ができます。この申請は、平日の9時から17時の間にすることが出来ます。

この生活手帳を持参せず、ポイントスタンプを押さなかった場合は、主催者が発行する「参加者記録」を記入し、交際の時に提出してください。参加者記録がないと記録は認められませんのでご注意ください。

氏名	年齢	参加記録	住所
氏名	A	大河原町	
氏名	B		
氏名	C	区	班
氏名	D		

おおがわら町民学園 生徒手帳

学園憲章
健康増進活動、スポーツ、文化活動、地域活動にいそしみ健康でいきいきと日々の生活を送ります。

▲大河原町民学園生徒手帳

教育長 参加者は300人から350人。回収量は3割程度。当初より低下している。

絵本コーナーの実績を問う

問 27年度の月別の貸出冊数と利用者数実績を示してほしい。

教育長 中央公民館の絵本コーナーの貸出冊数は、4冊、5月4冊、12月に2冊の合計8冊(延べ人数4人)。

問 絵本コーナーは、機能分散の役割を十分に果たしているのか。

教育長 今後は、新刊を増やし、充実を図る。絵本コーナーは継続していく。

町長選挙目玉公約を問う

問 100tの間伐材で、1年間の発電量を一般家庭に換算すると、何世帯分になるのか。

町長 69tで試算すると、6千世帯への供給が可能である。

問 100人規模の町立特養ホームの町長公約は、実現不可能とわかった上での公約だったのか。

町長 財政需要を予測できなかった。公約は撤回していない。町立を見直し、民間事業者の方針を変更する。

問 インシヤルコストは誘致企業が負担するのか。当町に誘致した場合、負担分はどうなるのか。

町長 当町の負担は、現在ではない。

一般質問

《平成27年第4回定例会(1月、2月)、平成28年第1回定例会(3月)議案等審議結果》

件名	議決月日	議決結果	議員別表決結果一覧													
			佐久間克明	須藤慎	大沼忠弘	高橋芳男	岡崎隆	丸山勝利	堀江一男	柘和也	佐藤貴久	庄司充	万波孝子	佐藤巖	安藤征夫	山崎剛
固定資産評価員の選任	1/25	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
工事請負契約の変更契約の締結(金ヶ瀬中学校屋内運動場改築外工事)	1/25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
大河原町と宮城県との間の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関の事務の委託に関する協議	1/25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
個人情報保護条例の一部改正	1/25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
情報公開条例の一部改正	1/25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
固定資産評価審査委員会条例の一部改正	1/25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成27年度大河原町一般会計補正予算(第7号)	1/25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
町長等の給与に関する条例の一部改正	2/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
職員の給与に関する条例の一部改正	2/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
少人数学級編成の実施に係る任期付教職員の採用等に関する条例の一部改正	2/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成27年度大河原町一般会計補正予算(第8号)	2/18	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
固定資産評価審査委員会委員の選任	3/9	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	欠	欠	投	議	
人権擁護委員候補者の推薦	3/9	適任	投	投	投	投	投	投	投	投	投	欠	欠	投	議	
農業再生化会議条例の制定	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	
人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	
町長等の給与に関する条例の一部改正	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議	
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	議	
平成27年度大河原町一般会計補正予算(第9号)、後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)、国民健康保険特別会計補正予算(第3号)、介護保険特別会計補正予算(第4号)、仙南夜間初期急患センター事業特別会計補正予算(第2号)、地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)、公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	議
平成28年度大河原町一般会計予算	3/16	可決	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	議
平成28年度大河原町後期高齢者医療特別会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、仙南夜間初期急患センター事業特別会計予算、地方卸売市場事業特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
土地の処分(金ヶ瀬字川根105-5、7、106-14)	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
土地の処分(金ヶ瀬字川根105-10)	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
おおがわら子どもの心のケアハウス設置条例の制定	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部改正	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 投：投票 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長なので表決に加わらず

議決責任の明確化

第1回定例会(3月会議)議案審議
子どもの心のケアハウス事業が
4月から駅前オーガ内でスタート

他 諮問1件、同意1件、議案24件、原案通り可決

議案第34号
おおがわら子どもの心のケアハウス設置条例の制定について
不登校児童生徒の自立及び学校生活への自発的復帰を促すことを目的とした心のケアハウスを設置するため、必要な事項を定めた条例制定案。

質疑
問 場所がオーガと確定されたが、プライベートの配慮はどうなるのか。
答 オーガの1階奥に設置される。入り口は人の出入りが少ないところになるよう配慮する。

問 5年間の事業だが、5年間限定と県が決めた理由は何か。
答 こういった補助事業は通常3年だが、事業の性質から5年と設定されたと考えている。

問 5年を超えて延長する場合はどうなるのか。
答 まだ実施してないので、効果を見ながら検討していく。

問 スタッフの研修会は考えているのか。
答 事前に打ち合わせ会を行い、進め方の意思統一を図り事業に臨む予定。研修に関して県から示されていらないが、より効果的な事業運営ができるように図っていく。

問 事業ありきの条例で、中身がないように思われるが。
答 今回の条例については設置を定めるもの。事業の実施については実施要綱を定めて実施する。その際により細かな運営について定める予定となっている。

問 第5条で必要な事項を教育委員会と定めるとなっているが、町との連携はどうなるのか。
答 実施する上での町との関係性は綿密なものを保ちながら実施するようにしていく。

※全会一致で原案可決

議案第32号・33号
土地の処分について
川根工業団地の土地について企業誘致の協議を進めていた結果、(株)とくら運送、(株)コイワイと売買契約を締結。(株)とくら運送が取得した土地は(株)宮城ニコンプレシジョンに賃貸、今年10月から操業開始予定。(株)コイワイでは平成30年4月の操業開始を予定している。

質疑
問 2社でどれくらい雇用を見込んでいるのか。
答 (株)とくら運送分で約50名、(株)コイワイについても約50名と考えている。

問 雇用は町民優先となるのか。
答 町内の方を優先するよう今後お願いしていく。

※全会一致で原案可決



一般会計	
主な補正予算	
収入	町税(町民・固定・軽自・都計・入湯) △4822万円
	地方消費税交付金 3000万円
	地方交付税 1億1791万円
	地域子ども・子育て支援事業費補助金 853万円
	ふるさと市町村圏基金返還金 8512万円
	再生可能エネルギー等導入補助金 △2148万円
支出	個人番号カード等交付事業費交付金 395万円
	臨時福祉給付金 7500万円
	民間保育施設型給付費 475万円
	仙南夜間初期急患センター事業操出金 729万円
	文化振興基金積立金 8512万円

意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

わが国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上いるとされるほど蔓延している。国の責めに帰すべき事由であるということは肝炎対策基本法や特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法等でも確認されているところであり国の法的責任は明確になっている。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は一刻の猶予もない課題である。

①ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
②身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し患者の実態に応じた認定制度にすること。
以上2つの事項を実現するよう強く要望する。

※全会一致で採択

議会報告会で町民の皆様からいただいた意見・要望の回答

27年11月20日・21日に町内6カ所で議会報告会を開催しました。

問 将来、人口減少が予測されているが、それに対する手段は考えているのか。また近隣市町と協力できないのか。

答 「大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において結婚・出産・子育ての支援による出生率の上昇、移住・定住の促進、健康寿命の延伸による寿命延伸などを進めていく。また近隣市町と連携できるものは政策形成を図って進めていく。

意見 大雨で福田地区7戸が孤立し、どうしようもなかった。このような状況を頭に入れておいてほしい。

答 今回の大雨ではポンプが二日間フル運転で排水させていただいた。排水能力を上げるには、ポンプ増設・排水路断面拡幅などが考えらるが、放流先の荒川との関係もあり、調整池という方法も考えられる。いずれにしても、大掛かりな調査・設計・施行になるものと考えられる。

要望 二本松集会所協会の広場に簡易な遊具を設置してほしい。

答 今後検討させていただきます。

問 大河原公園のアクアリウム等、改修が必要だと思われるが、どうなっているのか。

答 漏水及びろ過の不具合等の改善が出来ず、改修等の見直し及び大規模な工事が必要であると考えており、今後の大きな課題となっている。現状においては危険がないように定期的な巡回と排水を行っている。

問 稗田前地区の雨水対策の早期完成を。

答 大河原町・柴田町共同事業として国の補助事業の採択を受け、平成25年度より下流側より大型排水路整備に着手し、高砂公園付近まで工事を進めている。更なる工事の効率化を図りながら浸水被害の早期解消に努めているところである。上流域の稗田前地区の整備に

問 空き家の有効活用を図るべきである。

答 空き家等対策の推進に関する特別措置法の制定に伴い、平成27年10月に大河原町空き家等の適正管理に関する条例において空き家等対策計画が織り込まれ、空き家等及び除去した空き家等に係る跡地活用促進事項の中で検討していく。

問 投票所が遠くなってしまうところもある。

答 投票所設置は、投票所内の広さや駐車スペースの確保、投票事務の正確性や選挙人の利便性、地域性を考えて設置する必要がありと考えている。平成27年度に行った改編では、そのことを十分に検証し、且つ関係行政長には事前に複数回説明を行い、同意を得たうえで実施したものである。

問 放射線量の高いところが移ってきている。金小通学路近くを重点的に測定してほしい。

答 金ヶ瀬地区において

ついでに下流より整備を進めなければならない事をご理解いただき、ご協力をお願いします。

問 生活センターの解体を地区が負担するのは難しい。町で出来ないのか。

答 設置時及び維持管理についても町が助成という形を取ってきており、「町が解体」ということはできないと考えている。町内には同様施設もあることから、今後の町の計画や地域での状況も踏まえながら考えていきたい。

問 新田町生活センターの集会所への移行はどうなっているのか。

答 本町における公共施設管理の状況は、更新・統廃合・長寿命化など財政的に大変厳しいところがある。町内には同様施設があることから、今後の町の計画や地域での状況も踏まえながら考えていく。

問 イノシシ対策強化をお願いする。

答 現在、町内に箱おり

は、毎月金ヶ瀬小学校・金ヶ瀬中学校・金ヶ瀬カトリック保育園・南平公園を、隔月で広表公園一号公園・広表二号公園・広表三号公園・金ヶ瀬児童遊園・緑町公園・台部児童遊園で測定し結果を毎月広報におがわらに掲載していますのでご参照願います。なお、測定器の貸し出しを今でも総務課で行っていますので、ご活用ください。

問 駅前交差点の歩行者専用信号部分をスクランブル交差点にできないのか。

答 スクランブル交差点は、繁華街・駅・バスターミナル周辺等の信号機がある交差点で、歩行者の交通量が多く、交差点の形状等から歩行者の斜め横断の効果が期待できる交差点を対象としている。スクランブル交差点にした場合、斜め横断が可能となり、歩行者に対しては利便性が増し、歩行者と車両が分離されることにより事故防止上有効と思われるが、歩

10基・くくり罟20数カ所を仕掛けています。毎日巡回、確認をしております。猟友会会員も高齢にもなっている。山際の草刈の徹底や電気柵の設置など地域ぐるみで取り組みを進めていく。

問 企業誘致はどうなっているのか。早急に進めるべき。

答 現在、川根工業団地内の町有地及び周辺の私有地への企業誘致を図っている。おかげさまで持ちまして3社の進出または現在の工場の増築を見込んでいる。

①(株)コイワイ様

30年4月操業開始予定。

②角田市のとくら運送様が土地を取得し貸工場を建設。これを液晶パネル製造機械組立工場に賃借する。

28年10月操業開始予定。
③町が私有地を買収し、工場用地として造成、これをアイリスオーヤマ(株)大河原工場の拡張用地として売却することで、覚書を締結

者の待ち時間も長くなり歩行者の滞留スペースも必要になる。以上のことからスクランブル交差点には適さないとと思われる。(この回答は大河原警察署に意見を伺った)

問 集会所の整備予定はないのか。

答 現在のところは整備予定はない。

要望 集会所等の冷暖房設備は速やかに設置してほしい。

答 平成27年度より大河原町集会所空調設備設置事業補助金により、年間3施設への設置を進めている。28年度は補助施設数を6施設に拡大し、設置促進を図っていく。

問 公共施設の更新はどうなっているのか。

答 平成27年度に策定した公共施設等総合管理計画に基づき、更新計画を立てて行っていく。

している。現在、同社と事業着手に向け協議中。

問 町民学園のポイント事業について、行政区ごとでポイントが発行されるのは不公平ではないか。

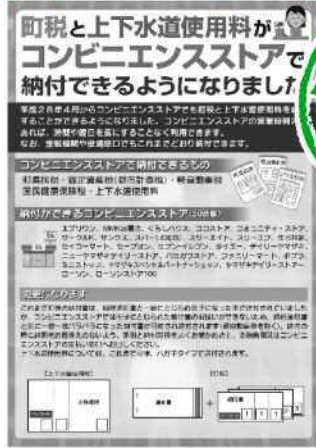
答 27年4月の区長会において区長が認めた区の活動(事業)について、町民学園の対象事業としてポイントを付与する旨、説明を行っているものです。行政区からは区の事業の申請という形で提出していただいております。当初8行政区から申請があった。その後も追加で申請された地区が10行政区となっており、合計18行政区からの事業にポイントを付与している状況です。今後も引き続き区長会等で説明を行い、ご理解をいただけるよう進めていく予定です。

※詳しくはホームページに掲載しています。

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。

税等のコンビニ収納



解決

▲4月から開始されたコンビニ収納

提言

税等の収納率向上と収納者の利便性を考えて、コンビニでも支払いができるようにすべきである。

平成22年
9月

平成28年

追跡結果

解決

先行してコンビニ収納を開始している自治体は数多くあり、これまでも一般質問、予算決算委員会、また町民からも議会報告会等で要望が寄せられてきたが、今年度4月1日よりコンビニ収納が開始されることとなった。

除雪対策費の予算化



一歩前進

▲平成25年2月の大雪

提言

例年気象の極端化が激しくなり短時間に降り積もり町民生活を妨げる。大雪が年に何回かみられる。毎年予備費から除雪費用を流用するが、雪害への備えとして当初予算に組み込むことが望まれる。

平成22年
3月

平成28年
3月

追跡結果

一歩前進

平成28年度一般会計予算土木費・道路橋梁・委託料において除雪費用（一回分）として200万円が計上され議会で認められた。今後、2度3度と大雪が降ることが予想されるので最低3回分の予算計上が見込み。

委員会調査 町への提言

総務文教常任委員会
ヘイトスピーチに対する法整備について
人種差別を扇動する行為は許しがたい行為であり、一定の理解はできるが、県内で意見書を採用した他自治体での審議内容等を参考に更に議論すべきとの意見が多数を占めたため、継続審議とした。

ウイルス性肝炎患者医療費の現状と課題について
国はウイルス性肝炎に対する医療費助成を含む生活支援について何ら新たな具体的措置を講じていないのが現状である。国として医療費助成の拡充は必要であることから、国に対して「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」を提出すべきものと判断した。

東日本大震災被災者の医療費等一部負担金の免除・減免措置の継続について
平成28年4月からは各自治体での対応が求められている状況であり、仙



▲採択された意見書は国会へ提出しました。

台市では27年末で免除措置を終了、多賀城市では継続する方針である。少数意見として当町でも27年度以降も継続するよう、国へ意見書の提出を求める意見もあったが、委員会としては医療費免除という形ではなく、何か別の形で被災者の心に寄り添った支援策を今後施行部へ提言していくべきであると判断した。

※「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」の内容は19ページに記載しています。

産業建設常任委員会

町内公園整備の現状と課題について

- 上谷公園
 - 除草作業等を地元農家で組織する上谷農事振興会に依頼し維持管理を実施（年2回）。
 - シルバー人材センターに園内清掃を隔週で委託。
 - イノシシ出没の指摘を受け南側境界部分にイノシシ避けの臭いを付けたロープを設置するとともに粒剤を散布した。その後イノシシ出没の痕跡は確認していない。
 - 近隣は農地、笹藪となっており、イノシシ用餌を設置（農政課）しているが、今後南側の民有地と公園の堺にフェンスが必要である。
- 昆虫公園
 - 周辺には蝶が50種類以上、水生昆虫は日本でも数少ないオオイチモンジシマゲンゴロウ等10数種類、甲虫数種類、その他数多くの昆虫が生息している。
 - 全体としてももう少し手入れが必要な状況にある。



▲フェンス設置が必要な上谷公園

- 町内公園における今後の課題
 - 公園サポーターの協力をいただき清掃や見守り等の維持管理を実施しているが、引き続き住民参加の公園管理の促進を図っていく。
 - 設置から年数が経過した公園が多くなっているため、遊具や施設の老朽化が進行している。定期的な巡回と点検、計画的な更新と修繕を実施していく。
 - シルバー人材センターに定期的な園内清掃を委託し、環境美化に努めていく。
 - イノシシ対策については、農政課と連携し対応していく。

こんな町に住みたいな



大河原中学校
武田 紗良



大河原中学校
鎌田 隼叶

町に住む人全員に優しい町に住みたいのです。今の時代、高齢者の増加が進んでいる一方、近代化された町になり、リアフリーが考えられていない場所が多くなっているような気がします。また、保育所などが足りなくなり、待機児童も増加しています。そのような人たちが減り、充実した生活ができるような町づくりやその他の人たちも住みやすく、優しい町づくりをしていけたらいいと思います。このようなことから私は、町に住む人全員に優しい町に住みたいのです。

私の住みたい町は、桜が舞い、春風が薫り清々しく出逢いと別れを迎えられるそんな町です。元々、大河原町は一目千本桜が有名で、4月になるとたくさん観光客の方々が訪れ、入学式の頃には凜々しく咲き誇っています。ですが、桜まつりなどの後に河川敷を見るとゴミがちらほらと散らばっていて、どれだけ桜がきれいでも、清々しいものとは言えません。ですので、これからボランティア等に参加して、理想の町に近づいていけばいいと思います。

6月議会のお知らせ 議会を傍聴しませんか
招集日 6月8日(水)・再開日 6月14日(火)
 詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かど
ワンショット

わが町の宝である「目千本桜」が表紙に取り上げた入学式と頃を同じくして4月上旬に開花し、あつという間に満開となりました。この写真は桜まつりの名物となった屋形船から撮影したものです。毎年花開く寿命を越えてなお美しい町花であるこの桜を末永く大切に守っていききたいものです。

議会研修会開催

平成28年2月2日に議員研修会を開催し、町民の皆様はじめ近隣町議会議員の皆様約50名にご出席いただきました。講師である中小企業診断士の新沼光氏から、なぜ今「自治体経営」が必要なのか講話をいただきました。今回の研修で改めて見えた、当町の特徴である仙南地域の拠点であり、小売業等第3次産業が盛んである点、財政状況の健全性を維持していること、急速な高齢化、郊外



のゴーストタウン化の脅威は小さい点を強みに、「攻める」展開を強化していくよう努めます。

編集後記

熊本県を中心に発生した地震におきまして大きな被害がございました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。さて、大河原町が誇る一目千本桜、今年は例年に比べて少し短い期間ではありましたが、綺麗な桜の花を咲かせ、多くの方の心を癒してくれました。また来年この桜が見れることを楽しみにしています。我々議員任期残り一年となりました。今後も皆様により読みやすい議会だよりづくりに努めてまいります。

- 編集発行責任者 (須藤 慎)
- 議長 秋山 昇
- 議会広報編集特別委員
- 委員長 岡崎 隆
 副委員長 須藤 慎
 委員 万波 孝子
 委員 柘 和也
 丸山 勝利
 佐久間 克明